第2号様式

職員の構成

1　基準職員

（1）　保育士の配置基準及び配置状況

実配置　0　人　≧　認可基準　0　人

（①＋②）

□利用定員を認可定員と異なる人数に設定している。（該当する場合、□にチェックをし、児童定員欄には利用定員を記載してください。）

●児童定員（認定こども園の場合は1号認定こどもの定員も含めて記載する。）	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
●年齢別配置基準	0人	0人		0人	0人	

（2）　職員名簿

【保育士数集計】　常勤職員　0　人…①　（常勤の所定労働時間数　0　時間/月　）

非常勤職員　0　人…②　（非常勤職員の総労働時間　0　時間/月　）

※常勤換算後

令和5年2月3日　現在

職　名	常勤非常勤の別	専任兼任の別	所定労働時間（月単位）	氏　名	生年月日（和暦）	年齢	保育士資格	経験年数	
施設長	常勤	専任							
調理員									
嘱託医									

（注1）基準職員とは、施設認可上、配置しなければならない職員で、非常勤職員を含む。

（注2）常勤の保育士とは、各保育所の就業規則等で定めた常勤職員のうち、期間の定めのない労働契約を結んでいる者（1年以上の労働契約を結んでいる者を含む）で、1日6時間以上かつ月20日以上勤務している保育士をいう。

（注3）所定労働時間を週当たりで設定している場合の月当たりの労働時間の算出方法

週当たりの労働時間÷7日×30日＝月当たりの労働時間

（注4）短時間勤務保育士及びその他の常勤以外の保育士は、常勤保育士見合いの数に換算すること。

換算方法：短時間勤務保育士及びその他の常勤以外の保育士の所定労働時間数の合計を常勤保育士の所定労働時間数で除し、端数を切り捨てる。ただし、ちょうど割り切れる場合は、そのうちの1人分については常勤保育士の総時間数を上回るといえないため、1人とカウントしない。

（注5）経験年数欄は、左欄に教育・保育施設、地域型保育事業、認証保育所、その他区市町村単独事業（ただし居宅訪問型保育事業、家庭的保育事業及びこれらに類するものを除く。）において常勤有資格者として保育に従事した年数を記載し、そのうち認可保育所における経験年数を右欄に記載すること。

第2号様式

2　基準外職員

（1）　休けい保育士、保育標準時間対応など

ア　保育士の配置基準及び配置状況

実配置 0 人　≧　施設型給付費（委託費）に係る加配（基準） 2 人
（③＋④）

イ　職員名簿

【保育士数集計】　常勤職員 0 人…③　（常勤の所定労働時間数 0 時間/月 ）

非常勤職員 0 人…④　（非常勤職員の総労働時間 0 時間/月 ）
※常勤換算後

令和5年2月3日 現在

職　名	常勤 非常勤 の別	専任 兼任 の別	所定労働時間 （月単位）	氏　名	生年月日 （和暦）	年齢	保育士資格有	経験年数	
調理員									

（2）　非常勤保育士の加配

実配置 0 人　≧　施設型給付費（委託費）に係る加配（基準） 非常勤 1 人

職　名	常勤 非常勤 の別	専任 兼任 の別	所定労働時間 （月単位）	氏　名	生年月日 （和暦）	年齢	保育士資格有	経験年数	

（注1）基準外職員とは、認可基準上配置が必要となる職員以外の職員で、常勤職員を含む。

（注2）子ども子育て支援法（平成二十四年法律第六十五号）に基づく区市町村の確認を受けて特定教育・保育施設となる場合、少なくとも施設型給付費（委託費）に係る必要職員については必ず記載すること。